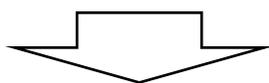


- 1 日 時：令和4年1月19日（水）5校時
- 2 教 科：社会科
- 3 学 年：2年A組
- 4 単元名：日本の諸地域「中国・四国地方」
- 5 単元について

単元における本質的な問い	単元における永続的理解
交通網の発達は、私たちの生活にどのような影響をもたらすのか。	交通網が発達することで、都市への人やものの移動が容易になり、生活の利便さをもたらす。その一方で、地方の人口流出をもたらす要因となり、地方の産業が衰退したり、学校や病院などが減少したりし、生活の不便さをもたらす。また、生活の不便さを解消するため、新たな開発や産業振興の機会を生み出す要因ともなっている。（H29 学習指導要領解説社会編を参考）



パフォーマンス課題

1年生の総合的な学習の時間で、「人口減少が進む大崎上島町を活性化させるために、橋を架けたらよいのではないか？」という意見が出ました。あなたは、この1年生の意見にどのように答えますか。様々な視点から考え、自分の言葉で意見をレポートにまとめよう。

パフォーマンス課題（単元末課題）の評価規準【ループリック】

	レポートの内容
A	問いに対して、橋を架けるメリットやデメリット、生活への影響などを踏まえ、様々な視点から自分の言葉で意見を述べている。
B	問いに対して、自分の言葉で意見を述べている。
C	問いに対して、自分の言葉で意見を述べていない。

## 6 生徒観・指導観

次の表は、平成 31 年度 広島県公立高等学校入学者選抜 一般学力検査における社会科の問題を、本学級の生徒が令和 3 年 11 月 29 日に実施し、広島県の正答率等と比較したものである。

問題形式	問題の内容	正答(%)		部分正答(%)		誤答(%)		無答(%)	
		県	本学級	県	本学級	県	本学級	県	本学級
一問一答	1(1)太平洋を流れる海流名	57.0	54.8			37.8	32.3	5.3	<u>12.9</u>
記述	1(3)リアス海岸の地形で養殖が盛んな理由	24.2	25.8	31.4	<u>38.7</u>	37.5	19.4	6.9	<u>16.1</u>
記述	2(2)相対的に捉えることのできる資料の考察	21.2	<u>48.4</u>	22.6	9.7	22.6	32.3	2.2	<u>9.6</u>

この表から、本学級の生徒と県平均を比べると、海流名を答える問題では、県平均と同じ程度の正答率であり、基本的な知識は身に付けていると考えられる。しかし、地形と関連付けて理由を答える問題では、部分正答率が高いことから、事象と事象を関連付けて説明することが難しいと感じている生徒がいると考えられる。また、どの問題においても無答率も高いことから、どのように文章を表現したらよいか分からず、回答を回避する生徒が多いと考えられる。

このような生徒の実態から、生徒に身近な地域を取り上げ、中国・四国地方の特色を捉えられるようにしていく。また、自分たちが実際に暮らす大崎上島町をパフォーマンス課題として設定することで、地域への関心を高め、主体的な学びが促されると考える。

中国・四国地方の特色を捉えていく上で、各地域の課題を複数の資料から読み取り、それらを関連付けられるようにする。その際、資料を読み取る視点を提示し、関連付けることが難しいと感じている生徒も読み取れるよう工夫する。また、文章を表現することが難しい生徒に対しては、身近な課題を取り上げ、書き方の型を提示することで、自分の言葉で述べられるよう工夫する。

## 7 単元目標

- 中国・四国地方の三つの地域で異なる気候や地域の特色について、地図や気温図などの資料を適切に選択し、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。
- 地方中枢都市として過密化する地域と、離島や山間部などの過疎化する地域の抱えている課題について比較し、地域活性化のためのそれぞれの地域の取組について考えることができる。
- 中国・四国地方の人口と産業の特色を、自然環境などと関連付けて捉えようとしている。

## 8 単元において育成しようとする資質・能力のかかわり

本校で育成しようとする資質・能力及び態度（○は本単元において育成しようとする資質・能力）

スキル	思考力・判断力・表現力	○	学習内容を活用し、現象が起こる理由を理論的に思考し、まとめている。
意欲・態度	主体性・積極性	○	課題を発見し、解決に向けて授業に意欲的、積極的に取り組んでいる。
価値観・倫理観	自己理解・自らへの自信	○	学習内容が日常生活に関係することを理解し、自信を持って学習に取り組んでいる。

## 9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方について、都市部と山間部や離島との間で見られる人口偏在や持続可能な地域づくりに向けた取組があることを理解している。</li> <li>人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた人口の偏在や持続可能な地域づくりに向けた取組と、それに関連する特色ある自然環境、産業の様子や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方において、都市部と山間部・離島の地域の広がりや各地域内の結びつきに着目して、特色ある自然環境や産業の様子、そこでの人口の偏在や持続可能な地域づくりに向けた取組を有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに、中国・四国地方の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、とらえようとしている。</li> </ul>

## 10 単元計画【全4時間】

時	学習内容	評価
第1次	1/4 ○中国・四国地方の人口の偏在と自然環境等を関連付けて理解する。 ○単元末に解決すべき課題（パフォーマンス課題）及び評価規準について理解し、課題解決のための見通しをたてる。	知
第2次	2/4 ○広島市や東広島市に人口が集中する理由と課題を読み取る。 ○離島や山間部が過疎化する理由と課題を読み取る。	思
第3次	3/4 (本時) ○交通網の発達による地域の変化を読み取る。	思
第4次	4/4 ○パフォーマンス課題について取り組み、グループで交流したり全体で交流したりして考えを深める。	思 主

1 1 本日の授業【単元計画 第3次】について

(1) 本時の目標：「交通網の発達を与えた影響を、人・ものの移動や地域の産業などの視点から資料を読み取り、自分の意見を述べることができる。」

(2) 本時の学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て 予想される生徒の反応 (・))	評価の観点 (評価方法)
1 既習事項を復習する。	◇発言しやすい雰囲気をつくる。 ・過密地域、都市部、広島市、東広島市 ・過疎地域、離島や山間部	
2 本時の課題を確認する。 <b>課題の設定</b>	◇資料を提示し、本時の課題をイメージさせる。 ◆資料の読み取り方や注目部分を全体で確認する。	
島は橋で結ばれて便利になったのに、人口が減少している理由を説明しよう。		
3 資料を読み取り、自分の言葉で述べる。 <b>情報の収集</b> <b>整理分析</b>	◇本時の課題について、予想を立てさせる。 ・交通網が発達することで、島が衰退したから。 ・橋がつながっても、島に働く場所がないから。 ・通勤や通学時間を短縮するため。  ◇架橋の前後で比べた様々な資料を読み取らせる。 ◆複数の読み取りが難しい生徒は、1つの資料に絞って読み取らせたり、読み取りの視点を設けたりする。 ◇自分たちの言葉で述べさせる。 ◆書き方の型を提示する。 「資料から、・・・が分かる。 このことから、・・・と考えられる。」	
4 グループで交流し、再度自分の言葉で述べる。 <b>まとめ・創造・表現</b>	◇グループで話し合える雰囲気をつくる。 ◆各グループ内で役割を持たせる。 ◆分からないことを生徒同士で聞けるように促す。 ◇グループで話し合ったことをもとに、再度自分の言葉で述べる。 ・資料から、橋の開通や高速道路の整備によって、人やものの行き来が盛んになったことが分かる。しかし、一方で地方の店舗は少なくなってきたことも分かる。これらのことから、地方の経済活動が衰退していったと考えられる。 ・資料から、橋の開通や高速道路の整備によって、移動時間が短縮し、橋の利用客数が増加傾向にあることが分かる。一方で、フェリー航路が廃止になったことも分かる。これらのことから、人やものの行き来が盛ん	思・判・表、主 (ワークシート)

<p>5 全体で交流し，振り返りをする。</p> <p style="text-align: center;"><b>振り返り</b></p> <p>6 次時のパフォーマンス課題につなげる。</p>	<p>になった一方で，船舶等の仕事がなくなっていったことが考えられる。</p> <p>◇数名のまとめた内容を全体で交流する。 ◇人口が減少することで起こる課題について，予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や病院などが減少し，生活に困る</li> <li>・仕事が減って，さらに人口が減る</li> </ul> <p>◇橋がつながることで便利になるが，人口の流出も起こることを全体で確認する。 ◇「大崎上島に橋を架ける場合には本時の事例と比較してどのようなことが考えられるか？」と生徒に問いかけ，次時に取り組むパフォーマンス課題を意識させる。</p>	
---	--	--

## 12 板書計画

本時の課題：島は橋で結ばれて便利になったのに，人口が減少している理由を説明しよう。

授業の流れ

前時の復習

↓

資料読み取り(個)

↓

グループ交流

↓

まとめ(個)

↓

全体交流

資料

Aさんのまとめ例

資料から，橋の開通や高速道路の整備によって，人やものの行き来が盛んになったことが分かる。しかし，一方で地方の店舗は少なくなってきたことも分かる。これらのことから，地方の経済活動が衰退していったと考えられる。